

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	令和 4 年 1 月 1 7 日
名 称	文化財保護委員会会議		
日 時	令和 4 年 1 月 1 3 日 (木) 1 3 時 3 0 分～1 4 時 3 0 分		
場 所	公民館 第 1 研修室		
内 容	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土館・開拓記念館の開館状況、並びに日曜・祝日開館、来館者状況について説明。緊急事態宣言に伴う臨時休館期間が長かったものの、ほぼ前年度なみの入館者となったが、令和元年度と比べると大きく減少となっている。 ・ 郷土館事業について説明。歴史探訪ツアーでは、泥流地帯映画化の関連から三浦綾子記念文学館で行われた特別展を見学。郷土館からも収蔵品を貸し出しており、普段見ることができない大正 15 年の十勝岳噴火に関する資料を見ることができた。また、10 大ニュースでは、新たに各小中高校の職員及び中高校生への投票依頼を行ったことを報告。 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財の指定に関する諮問について、別紙資料により文化財の概要を説明。いずれの文化財についても指定することに適とする意見をいただいた。なお、郷土館については、外観を大正 8 年当時のモデルで作成しただけで建材は大正 8 年当時のものではないため、指定について疑問が残るとの意見があったが、大正 8 年に建築された庁舎が本町（当時は村）の最初の庁舎であり後世に伝えるべき歴史的な建造物であるとして指定に賛同いただいた。その他、今後指定を検討すべき文化財として、富良野聖観音像のはじめとしたいいくつか候補が挙げられ、今後も将来に残すべき文化財については適宜指定を検討していくことを確認した。 ・ 今回審議を行った諮問に関する意見として教育委員会に報告する答申書（案）は原案どおり承認された。 ・ 今後の予定は 1 月 2 4 日に開催の町教育委員会で答申の提出及び指定に関する審議をし、承認されれば町議会や文化庁へ報告となる。 		